

純正ミラー交換タイプ/ドライブレコーダー付

デジタルルームミラー 【取扱説明書】

MDR-PRO2

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

お知らせ

本書で使用している画像は開発中のイメージ画像の為、

実際の製品とは異なる場合があります。

記載内容に不備がある場合は、

新しい取扱説明書を公開している場合がございます。

**取扱説明書の最新バージョンは、
以下のURLからご確認ください。**

<https://maxwin.jp/download/130873/>



※取扱説明書のファイルは
PDF形式になります。

目次

■安全上のご注意	1
■使用上のご注意	3
■付属品の確認	6
■取付位置の確認	7
■各部の名称 / 取付時のご注意	8
■取付作業の前に	9
■取り付け前の準備	10
■デジタルルームミラー本体の取付	11
■電源ケーブルの取付	12
■自動防眩ドアミラー用コネクターの取付 (一部のLEXUS車)	13
■フロントカメラを取り付ける	14
■リアカメラを取り付ける (車内)	15
■リアカメラを取り付ける (車外)	17
■リアカメラ中継ケーブルの引き回し例	19
■取付完了後の確認	20
■microSDカードの取り付け方/取り外し方	21
■電源のON/OFF	22
■初回起動時のセットアップ	23
■ディスプレイ表示	
●「デジタルミラーモード」の画面表示	26
●表示モードの切替	27
●「光学ミラーモード」電源のON	28
●自動明るさ調整	29
●手動明るさ「標準モード」「高輝度モード」の切り替え	30
●静止画を保存する	30
●カメラ表示切替	31
●「メニューバー」を表示/非表示する	32
●「メニューバー」について	33

目 次

■カメラ表示エリア設定	34
■再生メニュー	37
■画面の明るさ設定	42
■各種設定	
●後方録画	43
●ループ録画	44
●音声録音 / Gセンサー	45
●駐車監視録画	46
●電源オフ	48
●日時設定 / 言語	49
●時計表示 / アイコン表示	50
●フォーマット / 設定初期化	51
■本体情報	52
■パソコンで再生する	53
■よくある質問	54
■ファームウェアについて	55
■製品仕様	56
■商品保証書	59

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。
表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

■本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

12V車以外では使用しないでください。

■本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

■故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

■本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

■機器内部に水や異物を入れないでください。

発煙、発火、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。

落雷により、感電の危険性があります。

■本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。

■microSDカード挿入口に異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

注意

- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。
取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれカメラが脱落するおそれがあります。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。
変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロント・リアガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。ロックファイル(衝撃検知)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

- 11.雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

- 12.衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
- 13.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

使用上のご注意

- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で 사용하지しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 本機以外で記録した映像を見るためには、パソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

【microSDカードについてのご注意】

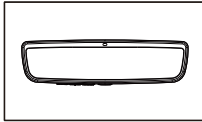
- ご購入時は本機にmicroSDカードが挿入されています。
- microSDカードは消耗品です。(各メーカーにより製品寿命は異なります)ご使用状況により寿命は短くなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めします。
下記仕様のmicroSDカードをご利用ください。
記録媒体:microSDHC／microSDXCカード
容量:8～128GB
スピードクラス:Class10
バスインターフェーススピード:UHS-I, UHS-II
※上記仕様を満たしていてもご利用頂けない場合があります。あらかじめご了承ください。
※容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは、本機では使用できません。
※本書では、上記のメモリーカードを「microSDカード」と表記しています。
- 記録媒体の仕様をご確認の上、必要に応じてご準備ください。仕様に合致していても動作しない可能性がありますのでご了承ください。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷等については、弊社は一切の責任を負いません。
- 安心してご利用いただくために、microSDカードは1カ月に1回はフォーマットしてご利用ください。
- 電源をONにした状態や駐車監視モード中にmicroSDカードの抜挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。
- microSDカードをフォーマットする際は必ず本機で行ってください。
- パソコンによるmicroSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSDカードや本機の故障の原因となります。

【駐車監視についてのご注意】

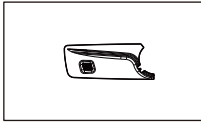
- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車監視機能の使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がり原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

付属品の確認

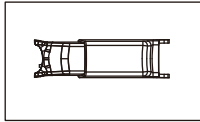
■構成部品



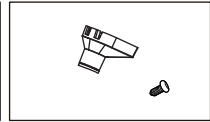
デジタルルームミラー
本体



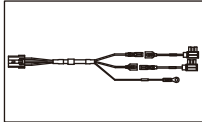
本体カバー



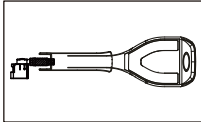
ケーブルカバー



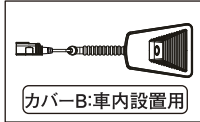
取付ブラケット
固定ねじ



電源ケーブル



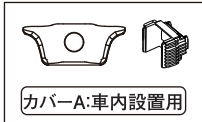
フロントカメラ



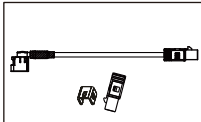
リアカメラ
(カバーB装着済み)



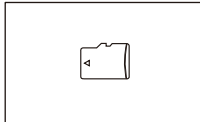
カメラカバー
取付ステー



カバーA:車内設置用
カバーA
(リアカメラ用)



リアカメラ中継
ケーブル



SDカード
(本体に装着済み)



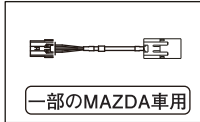
取扱説明書

■オプション品(別売り)



カバーC:車内設置用

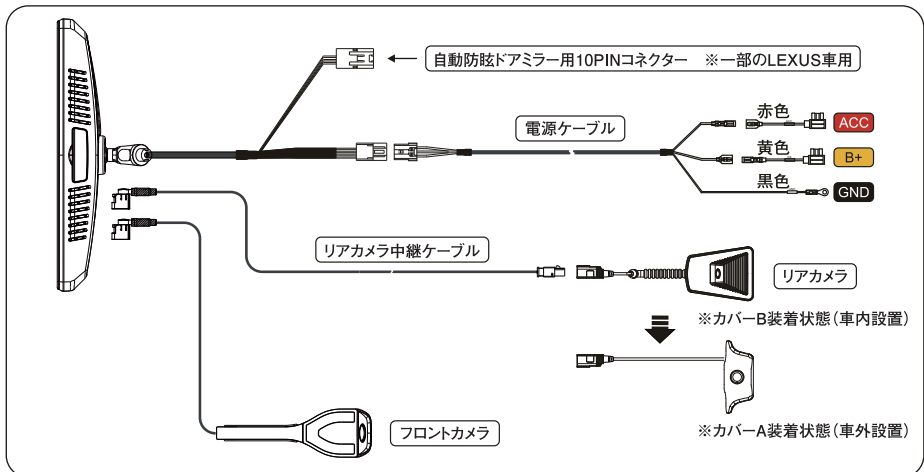
カバーC(リアカメラ用)
特徴:垂直に近いリアガラス
対応
型番:MDR-PRO-COV1
JAN:4589779631517



一部のMAZDA車用

自動防眩ドアミラー用
変換ケーブル(10PIN)
特徴:一部のMAZDA車対応
型番:MDR-PRO-CAB1
JAN:4589779631524

■配線図



取付位置の確認

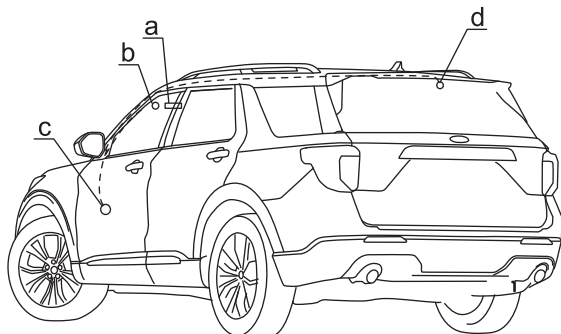
本製品の取付位置はお車により異なります。

また、リアカメラの取付場所（車内または車外）によって使用部品や取付方法が異なります。

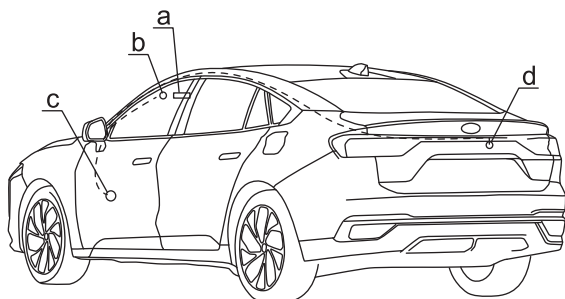
作業を始める前には、お使いのお車の取付位置を確認してください。

※必ずケーブルを仮止めし、配線ルートやケーブルの長さなどを十分に検討してください。

**取付概要図
(リアカメラ車内設置例)**



**取付概要図
(リアカメラ車外設置例)**



a. 純正ルームミラーを取り外し、本機デジタルルームミラーを取り付けます。

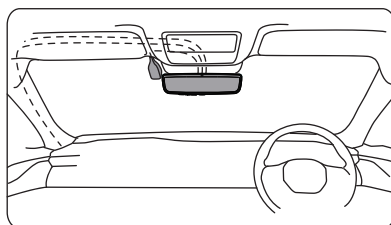
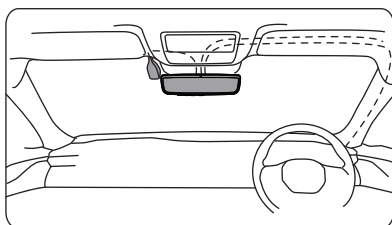
b. フロントウィンドウの内側に、フロントカメラを取り付けます。

c. 電源ケーブルの各配線は車両側配線(ヒューズ電源)に接続します。※

d. リアウィンドウの内側にリアカメラを取り付けます。(車内設置の場合)

d. ナンバープレート上部にリアカメラを取り付けます。(車外設置の場合)

※ヒューズボックスの場所(運転席側面/助手席側面)によって、フロントピラー部の配線方法が異なります。



各部の名称



注意

感光センサーの誤動作を防ぐため、センサーに触れたりセンサーを覆ったりしないでください。

取付時のご注意

- 安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
- 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取付を行ってください。
- 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 本製品を動作するには定格DC12Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。
複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧低下する可能性があります。
その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
- 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。
- リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。

取付作業の前に

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、10mmレンチ、電動ドリル（8.5mm）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤー、マスキングテープ、脱脂剤、はさみ、センターポンチまたはマジックペン、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。

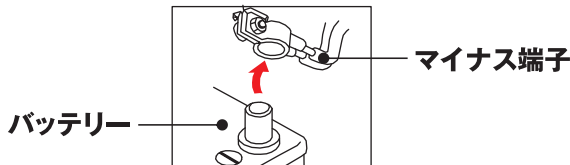
■作業の進め方

- 1.同梱物を確認する
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.ミラー本体・カメラを取り付ける
- 4.本体と各ケーブルを接続する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。



マイナス端子を外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
- カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

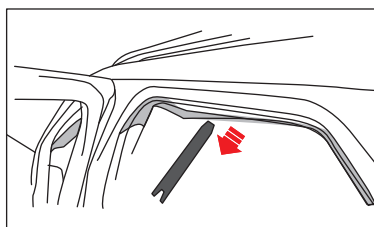
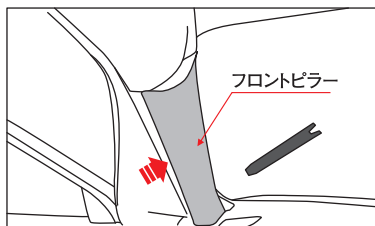
- 2.本体に電源ケーブル、フロントカメラ、リアカメラを接続する。
- 3.電源ケーブルのACC、BATTをヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
- 4.動作確認する（フロント・リアカメラ録画）
- 5.バッテリーのマイナス端子を外し（電源OFFにする）、本取付を行う。

※1.microSDカードはClass10以上、128GBまでのカードをご利用ください。

※2.microSDカードは本体でフォーマットを行ってください。

取り付け前の準備

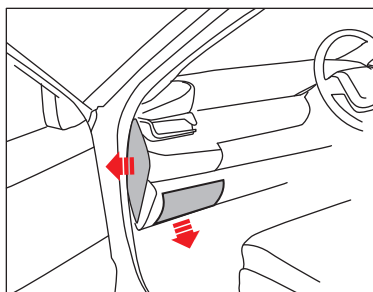
1. 取付概要図を参照して、配線側のフロントピラーを取り外します。
4. ドアを開け、ウェザーストリップゴムを引っ張り、配線しやすいように外します。



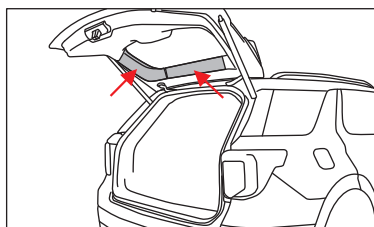
注意

エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。
また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。
必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。

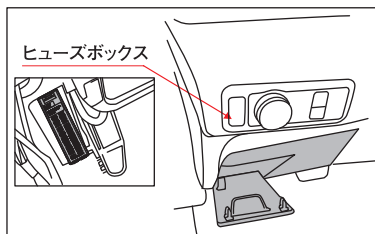
2. 取付概要図を参照して、車に応じて配線側のアンダーカバーなどを取り外します。



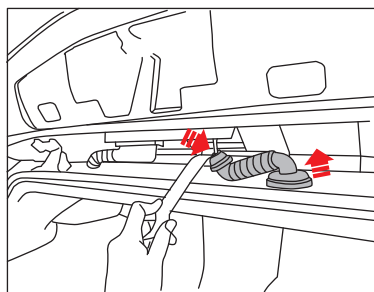
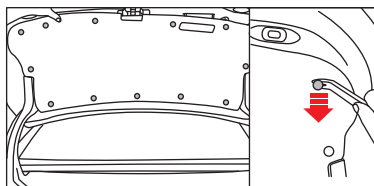
5. 取付概要図を参照して、車に応じてバックドアピラーなどを取り外します。



3. 車の取扱説明書等でヒューズボックス、アース位置やヒューズの詳細を確認してください。

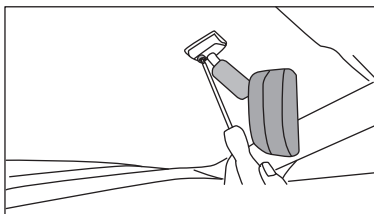


6. 取付概要図を参照して、テールゲートライニングや車両グロメット(バックドアがある車)などを取り外します。

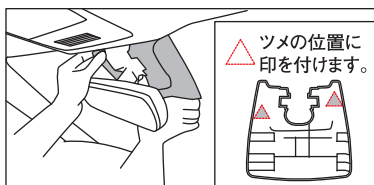
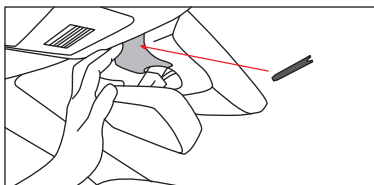


デジタルルームミラー本体の取付

1. 純正ルームミラーがねじで固定されている場合は、取り付けねじを外します。

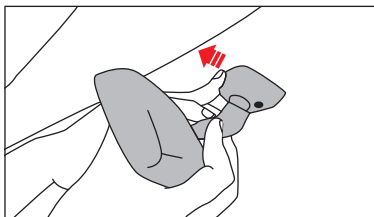


※運転支援機能用センサーなどの装備品が搭載されている場合は、センサー部のカバーを取り外してください。



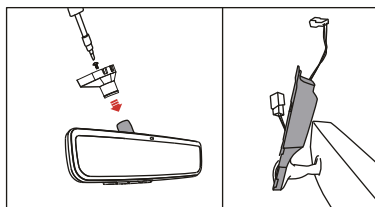
2. 純正ルームミラーを上(天井)方向にずらして取り外します。

※ツメで固定されている場合は、ツメを下げながら外してください。

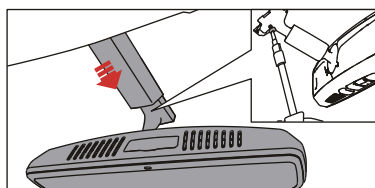


3. デジタルルームミラー本体にブラケットとケーブルカバーを取り付けます。

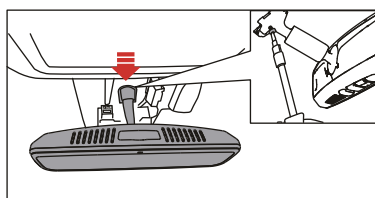
※車に運転支援機能センサー用カバーがある場合はケーブルカバーは不要です。



4. デジタルルームミラー本体を車両に取り付けます。付属のねじで固定します。



運転支援機能用カバーなし



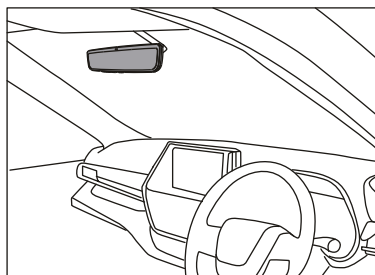
運転支援機能用カバーあり



注意

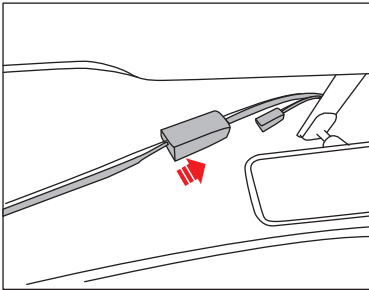
●付属品以外の固定ねじは使わないでください。
ねじを締めすぎないようにご注意ください。

5. デジタルルームミラー本体の取り付けは以上で終了です。

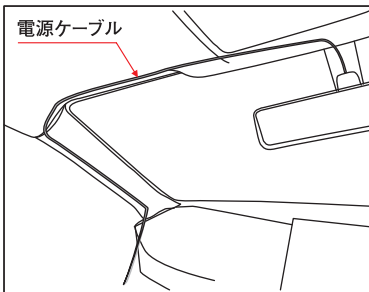


電源ケーブルの取付

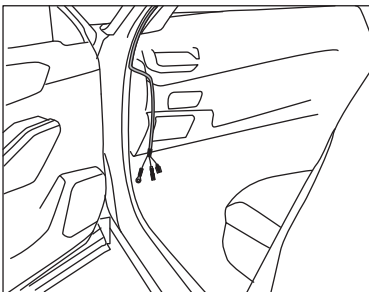
1. 本体の電源のコネクタを電源ケーブルのコネクタにカチッとロックがかかるまで挿入します。



2. 下図のように電源ケーブルをルーファイニング、フロントサイドピラーライニング内を通します。



3. 下図のように電源ケーブルをヒューズボックス側座席の足元まで引き回します。



⚠ 注意

- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

4. 電源ケーブルの各配線はヒューズボックス、または下記の車両側信号配線に接続します。

●GND(ボディーアース)線:

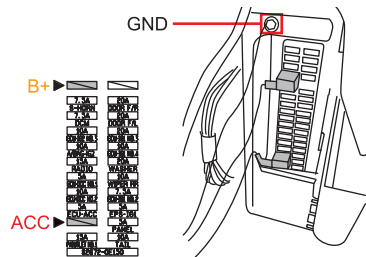
車両金属部分のボルト、ボディーアース配線などに接続します。

●ACC線:

シガーライター配線、オーディオ裏配線から取り出せます。

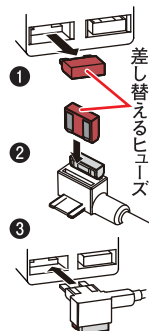
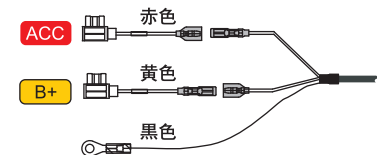
●BAT+線:

テスターで車のエンジンのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路を確認後、接続してください。



アドバイス

GND端子の締付トルク目安
約10±1kgf



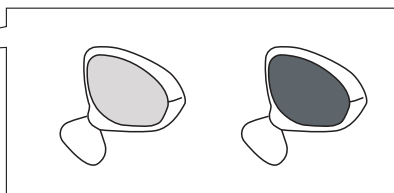
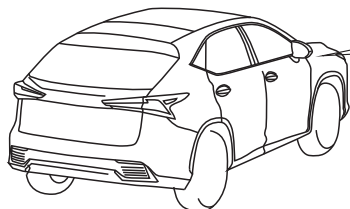
- ① ヒューズボックスから差し替えるヒューズを抜き取る。

- ② 抜き取ったヒューズをホルダーに挿し込む。

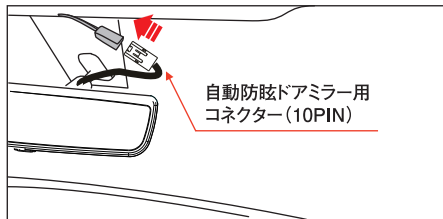
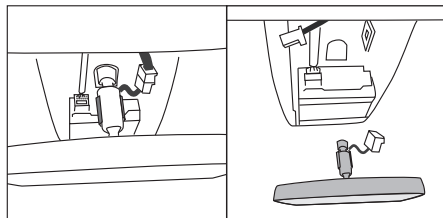
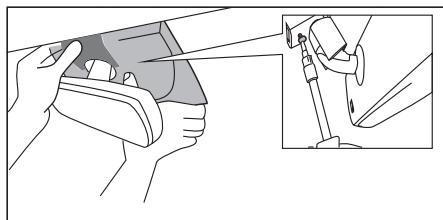
- ③ ヒューズコネクタをヒューズボックスに挿し込む。

自動防眩ドアミラー用コネクターの取付(一部のLEXUS車)

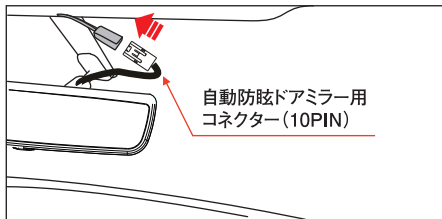
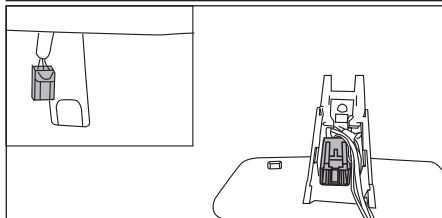
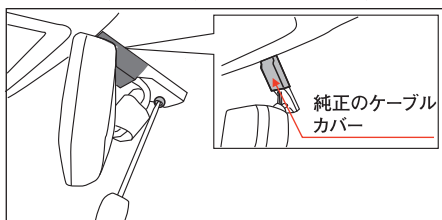
1. 一部の自動防眩タイプドアミラー装着車(一部のLEXUS車)に本製品の自動防眩ドアミラー用コネク터를接続すると、ドアミラーの自動防眩機能が動作できます。
必要に応じて、本製品の自動防眩ドアミラーを車両側の10PINコネクタにカチッとロックがかかるまで接続してください。



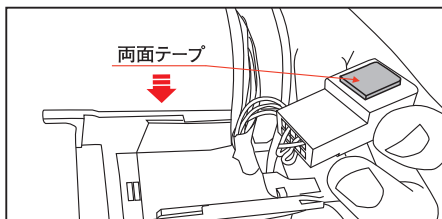
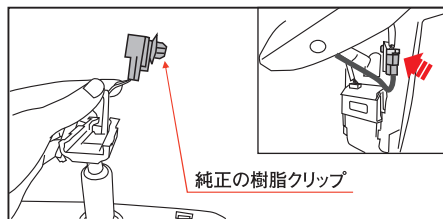
取付例(運転支援機能用カバーあり)



取付例(運転支援機能用カバーなし)

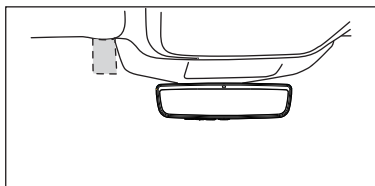


自動防眩ドアミラー用コネクタを接続した後、純正の樹脂クリップを流用する、またはコネクタに貼り付けている両面テープを使用して固定してください。

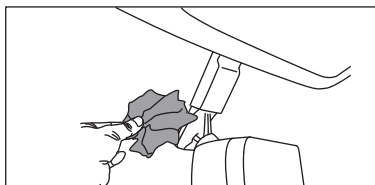


フロントカメラを取り付ける

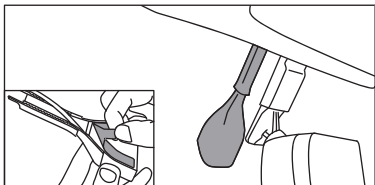
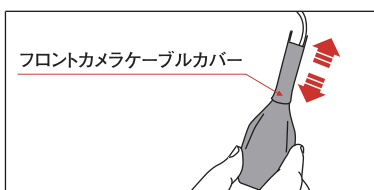
1. 取付概要図を参照して、フロントカメラの設置場所を決めます。



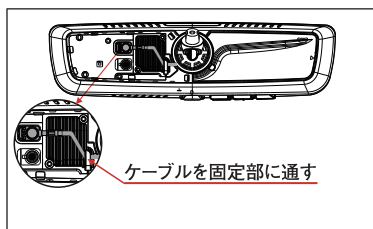
2. 取付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



3. フロントカメラ取付ステー部の両面テープのはくり紙を剥がしフロントガラスに貼ります。フロントカメラケーブルカバーの固定位置を調整します。



4. フロントカメラの端子を本体のフロントカメラコネクター(青色)に挿し込みます。

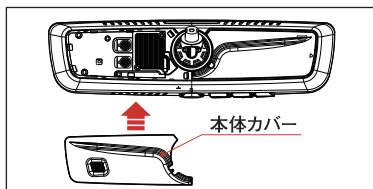


⚠ 注意

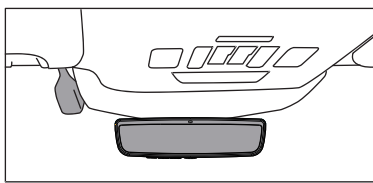
フロントカメラ端子を本体に接続した後に、黄色のロックレバーを押してしっかりと固定してください。



5. 本体のカバーを仮取付け、デジタルルームミラーの角度調整に支障が出ないように配線してください。



6. フロントカメラの取り付けは以上で終了です。



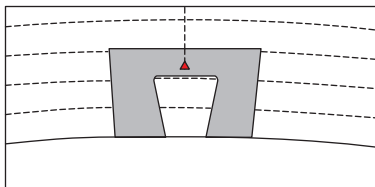
⚠ 注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第29条のフロントガラス装着規制対象外です。但し、設置場所はフロントガラスの開口部上端から下方向に1/5以内の場所に限ります。装着後、運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等、十分に確認してから使用してください。

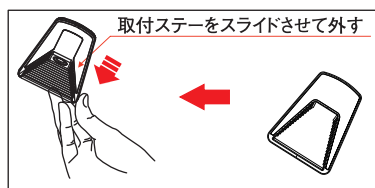


リアカメラを取り付ける(車内)

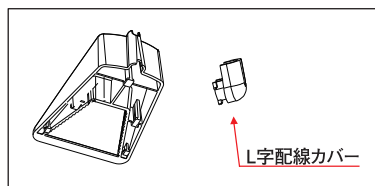
1. 取付概要図を参照して、リアカメラの設置場所を決めます。



カメラレンズができるだけ地面と水平になるような場所に設置してください。
リアガラスの角度に合わせて、取付ステー(角度別)を交換してください。

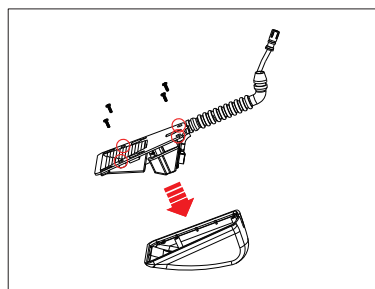


下記の取付ステーを使用する場合は、先にカバーBにL字配線カバーを取り付けます。

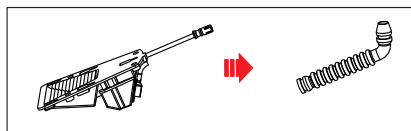


●L字配線カバーの取り付け

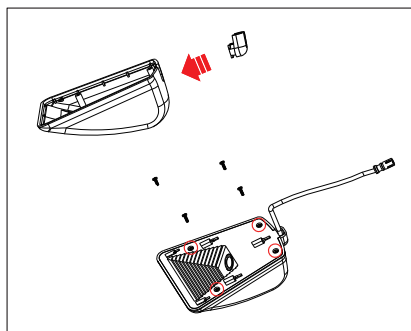
- ① カメラカバーBの固定ネジ(4箇所)を外してカバーBのブラケットを取り外します。



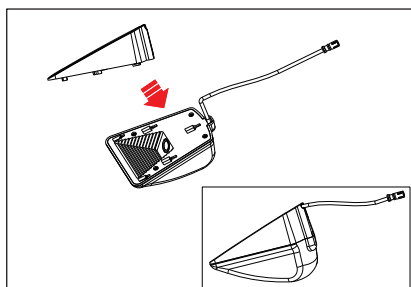
- ② ケーブル側のゴムカバーを取り外します。



- ③ カバーBの配線口にL字配線カバーを組み込み、配線用穴からカメラのケーブルを通します。
カバーBの固定ネジ(4箇所)を締め込みます。



- ④ カメラのケーブルを取付ステーの配線口にゆっくり通してから、取付ステーを取り付けてください。



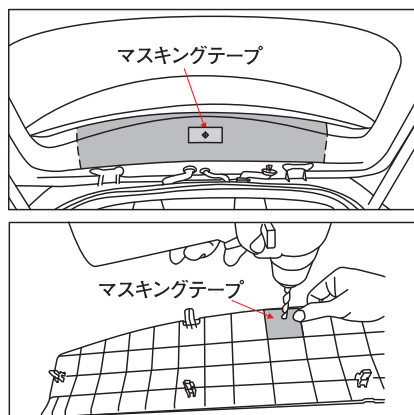
⚠ 注意

- 安全のため必ず手袋を使用してください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。
- 作業中はカメラのレンズを傷つけないようご注意ください。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

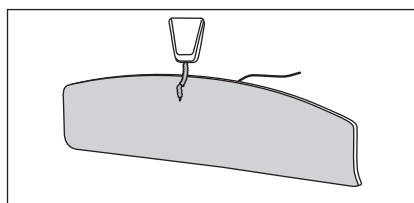
リアカメラを取り付ける(車内)

2. 必要に応じ、取り付け部にカメラケーブル配線用の下穴をドリルで開けます。

※加工位置をマスキングテープでマーキングしてから作業を行ってください。



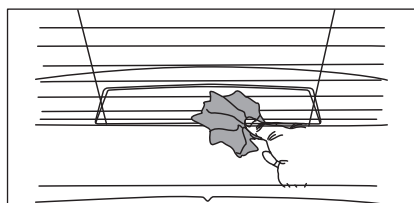
3. カメラのケーブルを配線用穴にゆっくり通してから、市販の防水キャップを取り付けてください。



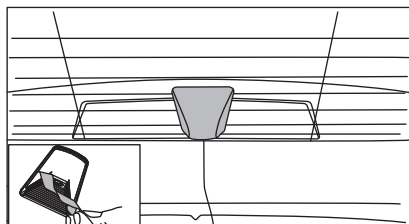
⚠ 注意

- 安全のため必ず手袋を使用してください。
- 作業時は保護メガネを着用してください。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

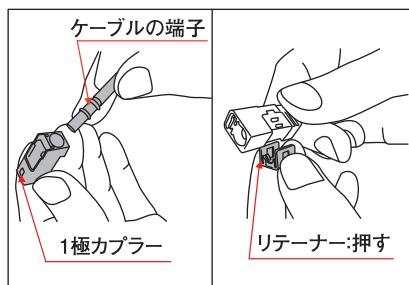
4. 車両側貼付け面の汚れを洗浄し、油脂等を脱脂剤できれいに拭き取ってください。



5. リアカメラ取付ステー部の両面テープのはくり紙を剥がしてから取付面に貼ります。



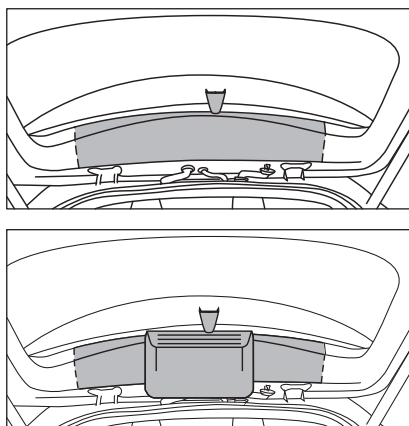
6. カメラ端子を1極カプラーにカチッと音がするまで差し込み、リテーナーで固定します。



⚠ 注意

- 無理に力をかけるとカプラーが破損してしまう可能性があります。作業は慎重に行なって下さい。

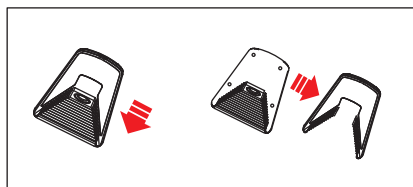
7. リアカメラの取り付けは以上で終了です。



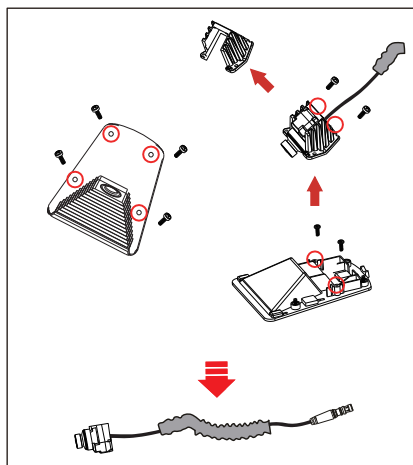
リアカメラを取り付ける(車外)

車外にリアカメラを取付する場合は、必要に応じてカメラのカバーを交換してください。

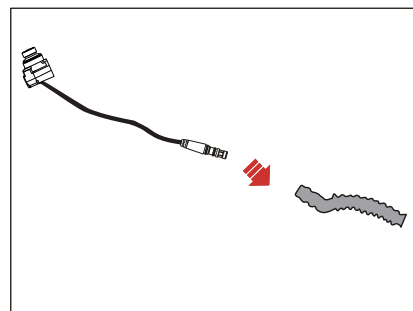
1. リアカメラ(カバーB装着済)から取付ステータスをスライドさせて外します。



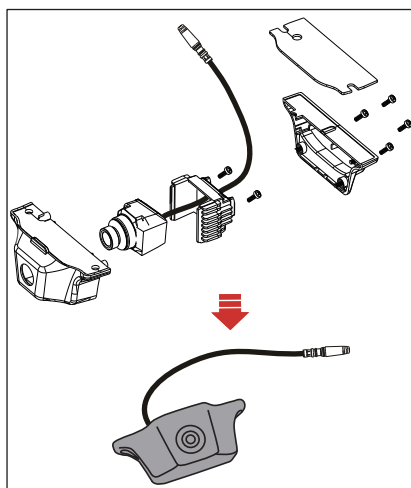
2. カバーBの固定ねじ(4箇所)を外し、カバーBを取り外します。
リアカメラ固定ねじ(2箇所+2箇所)を外し、ブラケットからリアカメラ本体を取り外します。



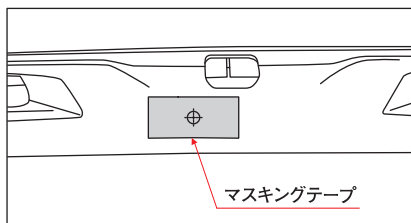
3. ケーブル側のゴムカバーを取り外します。



4. カメラ本体を「↑」マークが上になるようにカメラカバーAに組み込み、ブラケットのケーブル穴にケーブルを通して、ブラケット固定ねじ(2箇所)とカバー固定ねじ(4箇所)を締め込みます。



5. 取付概要図を参照して、リアカメラの設置場所を決めてください。



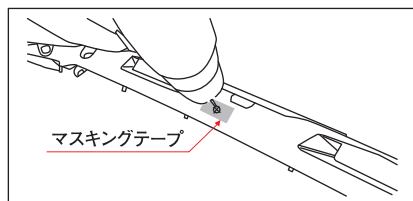
⚠ 注意

- 車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準」に準拠した取り付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。あらかじめ仮接続・仮止めて、取り付け位置を決めてください。貼りなおさないでください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。

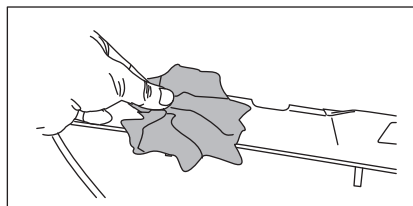
リアカメラを取り付ける(車外)

6. 取付面に穴あけ加工します。

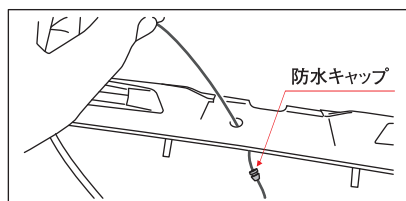
※加工位置をマスキングテープでマーキングしてから作業を行ってください。



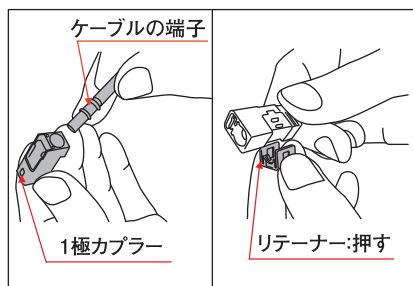
7. マスキングテープを剥がし、取付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



8. リアカメラのケーブルを穴にゆっくり通してから、市販の防水キャップを取り付けてください。

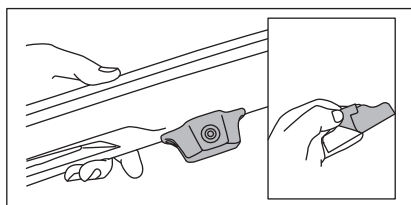


9. カメラ端子を1極カプラーにカチッと音がするまで差し込み、リテーナーで固定します。



10. リアカメラ取付ステー部の両面テープののり紙を剥がしてから取付面に貼ります。

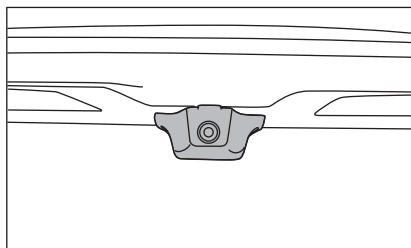
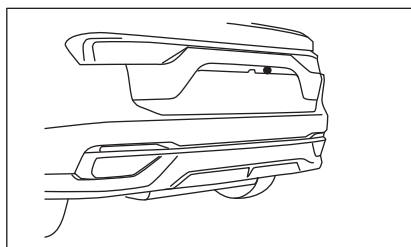
※ねじ止める場合は、付属のタッピングねじで固定してください。



⚠ 注意

- 気温が低いとき(20℃以下)は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けたと、24時間以内は雨に濡らしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

11. リアカメラの取り付けは以上で終了です。

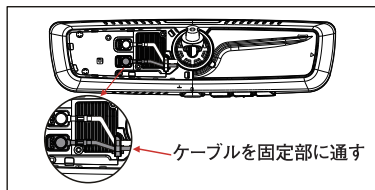


⚠ 注意

- 作業中はカメラのレンズを傷つけないようご注意ください。
- ネジを締めすぎないようにご注意ください。

リアカメラ中継ケーブルの引き回し例

1. リアカメラ中継ケーブルの端子を本体のリアカメラコネクタ（白色）に挿し込みます。

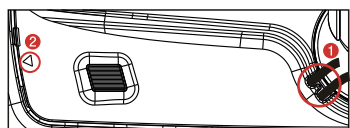
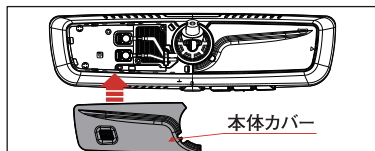


注意

リアカメラ端子を本体に接続した後、黄色のロックレバーを押してしっかりと固定してください。

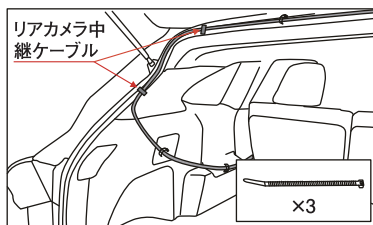
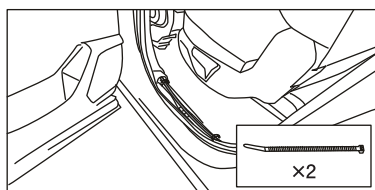


2. 本体のカバーを取り付けます。

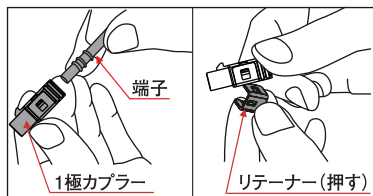


- ① ケーブル配線後に押して取り付けます。
- ② 内装はがしを隙間に差し込んで取り外します。

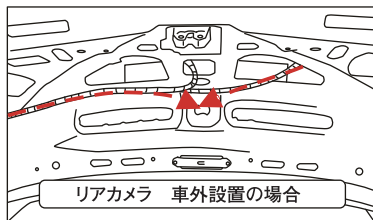
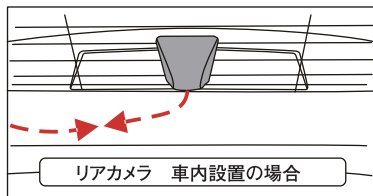
3. 雨水などが浸入しないよう、下図のようにリアカメラ中継ケーブルを配線してください。



3. リアカメラ中継ケーブルの端子を1極カプラーにカチッと音がするまで差し込み、リテーナーで固定します。



4. リアカメラ中継ケーブルのカプラーとリアカメラのカプラーを接続します。



5. 各ケーブルを接続してから、クッションを接続部に巻いてください。

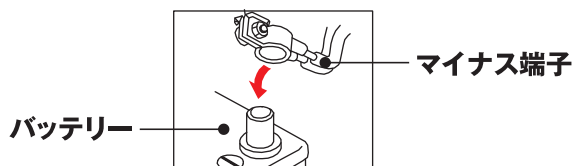
注意

- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。
- 端子を確実に差し込んで下さい。
- 着脱時にはケーブルを引っ張らないでください。
- ケーブルは、改造による延長はしないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- ケーブルは、高温に上昇する車両の装置に接触しないようにしてください。

取付完了後の確認

■作業の後に

1. 取り付けした機器や、配線が正しくされているか確認します。
2. デジタルルームミラー本体、フロントカメラ、リアカメラがしっかり固定されているか確認します。
3. バッテリーのマイナス端子を接続します。



4. 車のエンジンをかけ、デジタルルームミラー、フロントカメラ、リアカメラが正常に動くことを確認します。

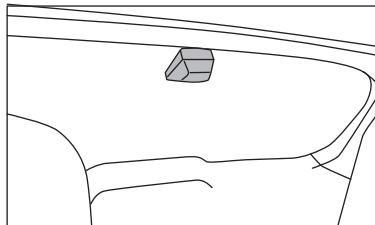
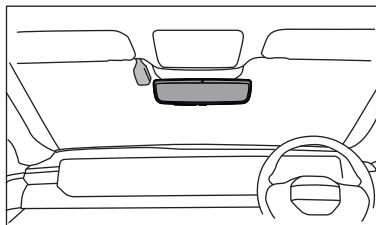
■車両部品の復元

取り外した車両部品を元通りに復元します。

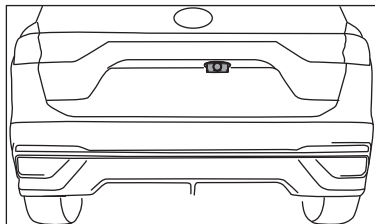
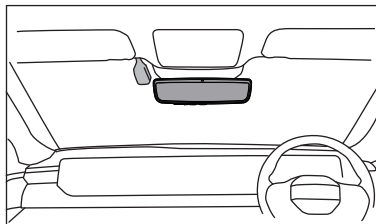
⚠ 注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■取付完成図

リアカメラ車内設置の場合



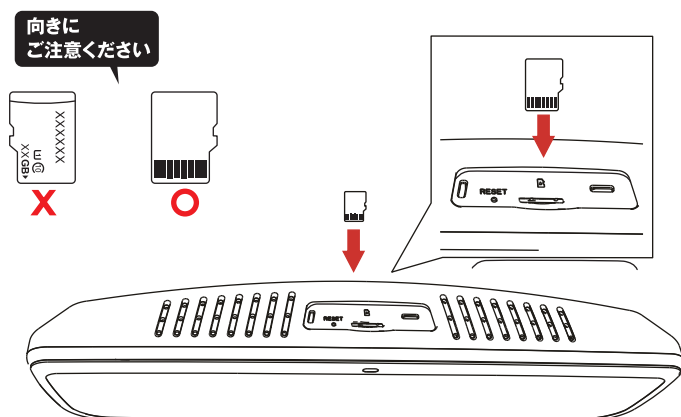
リアカメラ車外設置の場合



microSDカードの取り付け方/取り外し方

■microSDカードを挿入する

microSDスロットのカバーを開けてから、microSDカードの金属端子面がディスプレイ側になるよう、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。

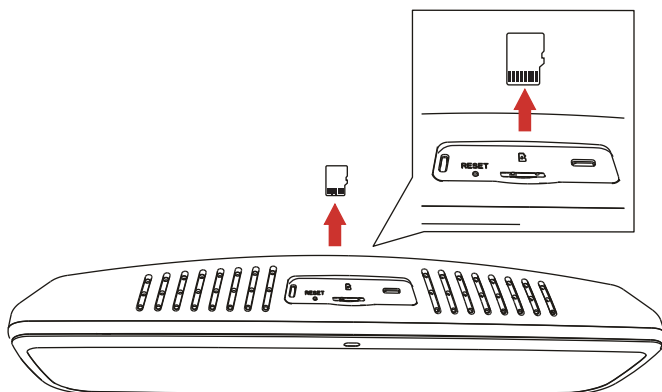


■microSDカードを取り出す

エンジンを停止してから抜いてください。

microSDカードを押してカードが少し飛び出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、かつFAT32フォーマット、128GBまでものをご利用ください。

※初回ご利用するにはmicroSDカードをフォーマットしてください。

※64～128GBのmicroSDカードの場合、挿入時にカードを認識しない表示が出ることがありますが、本体設定にてフォーマットすれば認識されるようになります。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動（イグニッションキーをON）にすると、本機の電源がONになります。
同時に常時録画を開始します。

※システム起動のため数秒かかります。



microSDカードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。
フロントカメラ、リアカメラを接続しないで電源を入れると録画が開始しません。

■電源のOFF

車両のエンジンを停止（イグニッションキーをOFF）すると、本機の電源がOFFになります。
同時に常時録画を停止します。



初回起動時のセットアップ

■言語設定（初回起動時）

本機を最初に起動した時に言語設定の画面が表示されます。

表示される項目から、 左ボタンと  右ボタンを押して利用したい言語を選択し、
 設定ボタンを短押しして決定します。



●操作ボタンについて

本機の設定は、本体下の4つの操作ボタンで行います。



	操作ボタン	名称	主な機能
①		左ボタン	各設定項目の選択、数値変更を行います。
②		右ボタン	各設定項目の選択、数値変更を行います。
③		設定ボタン	メニュー画面を表示・終了します。 1つ前の操作画面に移動します。
④		ディスプレイボタン	デジタルルームミラーモード/ 光学ミラーモードを切り替えます。 ドアミラーの自動防眩機能を ON/OFFします。 ※ドアミラーに自動防眩機能がある 一部の対象車両のみ

初回起動時のセットアップ

■ボタン操作一覧表

デジタルルームミラー機能に関する操作:

ボタン	操作	状態	内容
左ボタン ▼/📷	短押し(<1S)	メニューバー	選択、設定内容を変更する
	長押し(1.5S)	メニューバー	連続選択する
	短押し(<1S)	録画中	静止画を保存する
右ボタン ○/▶	短押し(<1S)	メニューバー	選択、設定内容を変更する
	長押し(1.5S)	メニューバー	連続選択する
	短押し(<1S)	液晶ON	フロント/リアカメラの切り替え
	長押し(1.5S)	液晶ON 画面の明るさ:手動	画面輝度の「高輝度モード/ 標準モード」の切り替え
設定ボタン ⚙️	短押し(<1S)	液晶ON	「メニューバー」を表示する
	長押し(1.5S)	液晶ON	「メニューバー」を終了する
	短押し(<1S)	メニューバー	選択/確定(OK)
	長押し(1.5S)	メニューバー	前の画面に戻る
ディスプレイ ボタン	短押し(<1S)	液晶ON	液晶をOFFにする
	短押し(<1S)	液晶OFF	液晶をONにする

ドアミラー防眩機能に関する操作:

※ドアミラーに自動防眩機能がある一部の対象車両のみ対応します。

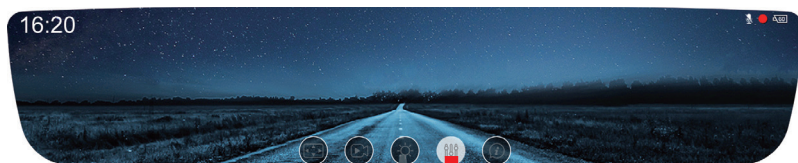
ボタン	操作	状態	内容
ディスプレイ ボタン  ↑ インジ ケーター	長押し(1.5S)	ドアミラー 防眩機能ON	ドアミラーの自動防眩機能をOFFに する ●インジケーター:消灯
	長押し(1.5S)	ドアミラー 防眩機能OFF	ドアミラーの自動防眩機能をONに する ●インジケーター:青色点灯
	短押し(<1S)	ドアミラー 防眩機能OFF + 液晶ON	ドアミラーの自動防眩機能をOFFのま ま、液晶をOFFにする ●インジケーター:白色点灯

初回起動時のセットアップ

■microSDカードを初期化する

初回利用時は ⚙️ 設定ボタンを短押しして「メニューバー」を表示させ、各種設定の画面より「フォーマット」を選択してSDカードの初期化を実行してください。

※P.51「各種設定」> ●フォーマット を参照してください。



◀️/📷 左ボタン
または
🔄/▶️ 右ボタン



⚙️ 設定ボタンを押すと、
SDフォーマットが開始します。



注意

microSDカード内のデータをすべて削除します。保存しておきたいデータがある場合は、必ずパソコンにデータを保存してから本操作を行ってください。

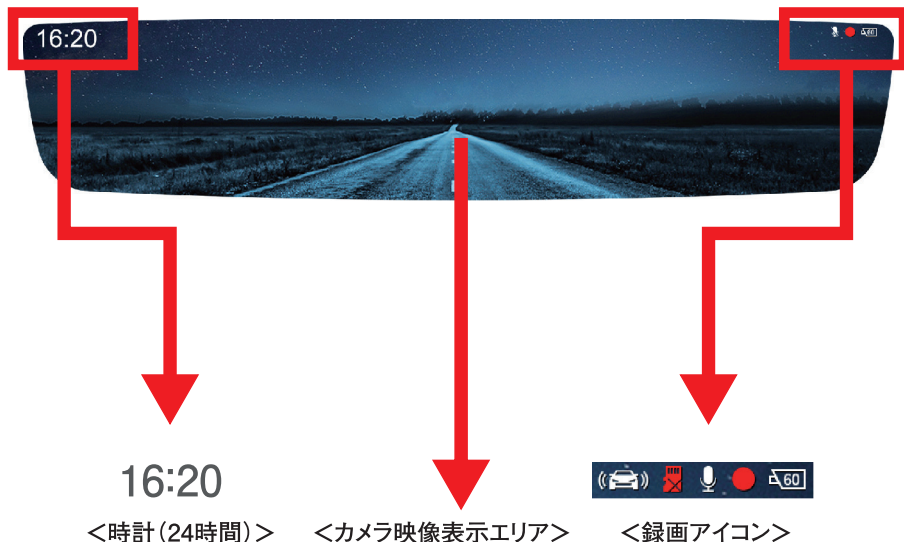
microSDカードが挿入していない場合は、本機の起動後に「SDカードが挿入されていません」のメッセージが表示されます。



ディスプレイ表示

■「デジタルルームミラーモード」の画面表示

- <時計(24時間)>各種設定の「時計表示」をONにすると、液晶画面左上に表示されます。
- <カメラ映像表示エリア>フロントカメラ/リアカメラの映像を表示します。
- <録画アイコン> 液晶画面右上に表示されます。



- 各種設定の駐車監視録画が「ON」の時に表示されます。
- SDカード故障、またはSDカードが挿入されていない時に表示されます。
- 各種設定の音声録音が「ON」の時に表示されます。
- 各種設定の音声録音が「OFF」の時に表示されます。
- 録画中に●(赤)を表示します。
- イベント録画を記録する時に表示します。(点滅)
- リアカメラの録画コマ数(30fps)を表示します。
- リアカメラの録画コマ数(60fps)を表示します。
- F(点滅):フロントカメラ異常の時に表示します。
- R(点滅):リアカメラ異常の時に表示します。

ディスプレイ表示

■表示モードの切替

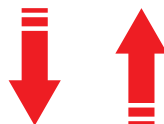
本機は起動後に「デジタルルームミラーモード」になり、リアカメラ映像を画面に表示します。ディスプレイボタンを押すことで、「デジタルルームミラーモード」と「光学ミラーモード」を切り替えることができます。



デジタルルームミラーモード
車両後方に設置するリア
カメラの映像を表示します。



ディスプレイボタンを押す



光学ミラーモード
映像が消え、光学ミラー
として使用できます。



ディスプレイボタンを押す

※リアカメラ及びリアカメラ中継ケーブルの接続不良、故障や異常な状態では、「NO SIGNAL」のメッセージが約5秒間に表示し、その後に画面オフ(光学ミラーモード)になります。



ディスプレイ表示

■「光学ミラーモード」電源のON

「光学ミラーモード」の状態です電源OFF(エンジンオフ)後、エンジンを再始動すると下記の画面が表示されます。

約5秒後に液晶が自動的にOFFになり、「光学ミラーモード」になります。



電源ONになった5秒後に自動的に「光学ミラーモード」になります。



●鏡面防眩機能

本機の「光学ミラーモード」は鏡面防眩機能があります。

鏡面防眩機能:夜間などに後続車のヘッドランプの光が眩しいと検知されると、自動的に鏡面の反射率を下げる機能です。



鏡面防眩機能: 鏡面の反射率を下げ、
後続車のヘッドライトの反射を弱くします。

ディスプレイ表示

■自動明るさ調整

本機の画面の明るさが「自動」に設定されている場合、ディスプレイのバックライトの明るさを自動で周囲の明るさに合わせて調整します。



明るい環境ではバックライトの明るさを自動的に上げる



暗い環境ではバックライトの明るさを自動的に下げる



ディスプレイ表示

■手動明るさ「標準モード」「高輝度モード」の切り替え

本機の画面の明るさが「手動」に設定されている場合、「デジタルルームミラーモード」で

○/▶ 右ボタンを長押ししてディスプレイの輝度設定を「標準モード」から「高輝度モード」に切り替えることができます。

※次のエンジンの始動時に自動的に「標準モード」に戻ります。



標準モード: 手動で設定した画面の輝度



右ボタンを長押しする



高輝度モード: 画面の最大輝度



右ボタンを長押しする

■静止画を保存する

「デジタルルームミラーモード」、または「光学ミラーモード」で ◀/📷 左ボタンを押すと、静止画(1枚)の撮影を行います。



◀/📷 左ボタンを押す
(静止画1枚を
保存する)



◀/📷 左ボタンを押す
(静止画1枚を
保存する)

ディスプレイ表示

■カメラ表示切替

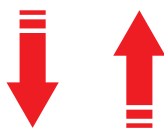
「デジタルルームミラーモード」で、/ 右ボタンを短押してフロントカメラ映像表示/リアカメラ映像の表示に切り替えることができます。



リアカメラ映像表示



 右ボタンを押す



フロントカメラ映像表示



 右ボタンを押す

ディスプレイ表示

■「メニューバー」を表示/非表示する

「デジタルルームミラーモード」で ⚙️ 設定ボタンを押すと、画面の下に「メニューバー」が表示されます。



⚙️ 設定ボタンを短押する: メニューバー表示



メニューバー

⚙️ 設定ボタンを長押しすると、「メニューバー」が非表示になります。
または、6秒間操作をしないと「メニューバー」が非表示になります。



⚙️ 設定ボタン長押しする: メニューバー非表示

または

6秒間操作をしない: メニューバー非表示

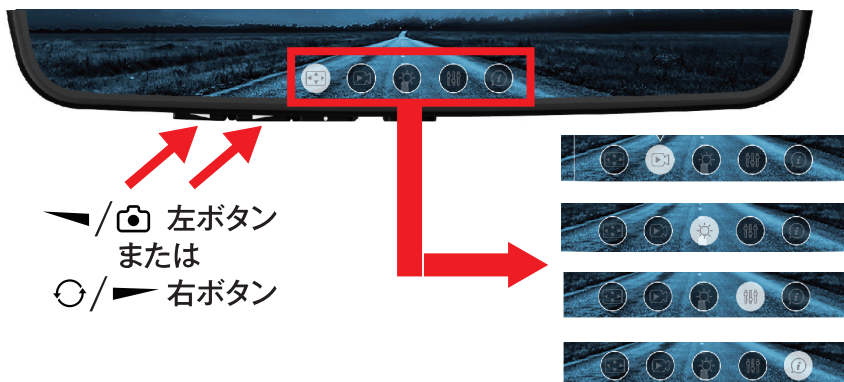
ディスプレイ表示

■「メニューバー」について

「メニューバー」で ◀/📷 左ボタンと ⌛/▶ 右ボタンを短押しして、「カメラ映像表示エリア設定」、「再生メニュー」、「画面明るさ設定」、「各種設定」、「本体情報」への切り換えを行います。

⚙️ 設定ボタンを短押しすると各画面が表示します。

⚙️ 設定ボタンを長押しすると各画面の表示を終了します。



「カメラ映像表示
エリア設定」



「再生メニュー」



「画面の明るさ設定」



「各種設定」



「本体情報」

カメラ表示エリア設定

■カメラ表示エリアを設定する

下記の「メニューバー」で  設定ボタンを短押しすると「カメラ映像表示エリア設定」の設定メニューを表示します。

◀/📷 左ボタンと ⌚/▶ 右ボタンを短押しして、設定項目の「上下」、「左右」、「回転」、「拡大縮小」 への切り換えを行います。

※表示中のカメラのみ調整できます。フロントカメラとリアカメラの調整は連動しません。



◀/📷 左ボタン または ⌚/▶ 右ボタンで設定する項目を選択する

 設定ボタンを短押しすると、該当する項目の設定画面へ移動します。

設定を保存すると、「デジタルルームミラーモード」画面へ戻ります。

また、 設定ボタンを長押しすると「カメラ映像表示エリア設定」画面へ戻ります。



 設定ボタンを短押しして、設定画面へ



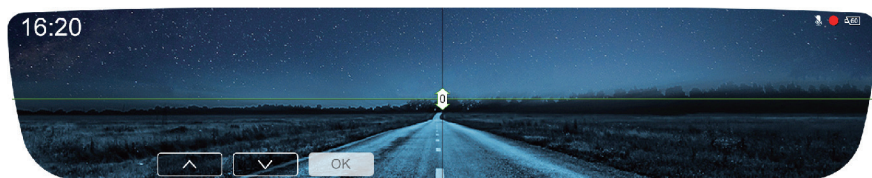
 設定ボタンを押して設定を保存する
※注:設定ボタンを長押しする、または6秒間操作しないと設定メニューが終了する

カメラ表示エリア設定

●上下

カメラ映像表示エリアを上下方向に移動します。

設定範囲: -5/-4/-3/-2/-1/0(初期設定)/+1/+2/+3/+4/+5



⚙️ 設定ボタンを短押すと、設定を保存します。
「デジタルルームミラーモード」画面に戻ります。

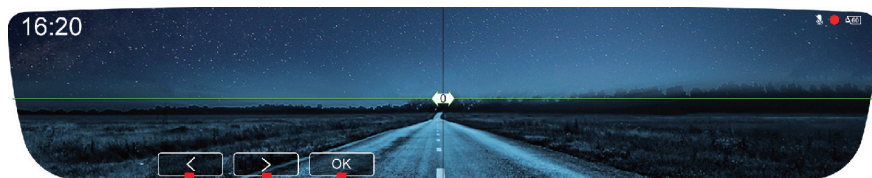
⌂/➡️ 右ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを下方方向に移動します。

⬅️/📷 左ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを上方向に移動します。

●左右

カメラ映像表示エリアを左右方向に移動します。

設定範囲: -2/-1/0(初期設定)/+1/+2



⚙️ 設定ボタンを短押すと、設定を保存します。
「デジタルルームミラーモード」画面に戻ります。

⌂/➡️ 右ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを右方向に移動します。

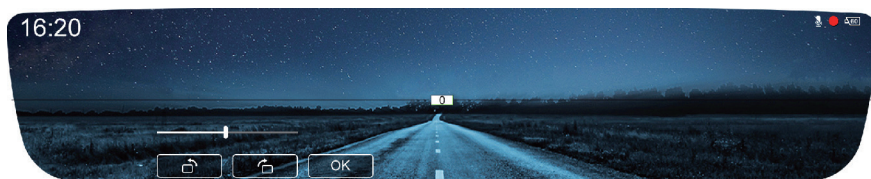
⬅️/📷 左ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを左方向に移動します。

カメラ表示エリア設定

●回転

カメラ映像表示エリアを左方向/右方向に回転します。

設定範囲: -2/-1/0(初期設定)/+1/+2



⚙️ 設定ボタンを短押すと、設定を保存します。
「デジタルルームミラーモード」画面に戻ります。

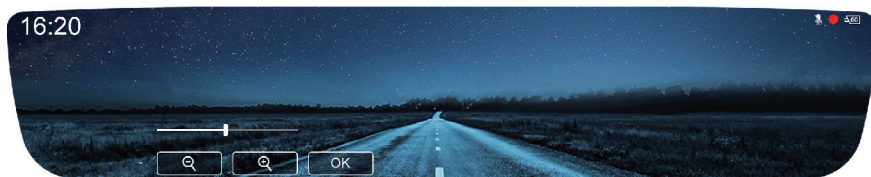
↶/ 右ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを右方向に回転します。

↷/📷 左ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを左方向に回転します。

●拡大縮小

カメラ映像表示エリアを拡大、または縮小します

設定範囲: -2(初期設定)/-1/0/+1/+2



⚙️ 設定ボタンを短押すと、設定を保存します。
「デジタルルームミラーモード」画面に戻ります。

↶/ 右ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを拡大します。

↷/📷 左ボタンを短押すと、
カメラ映像の表示エリアを縮小します。

再生メニュー

■記録データを再生する

下記の「メニューバー」で ⚙ 設定ボタンを短押しすると「再生メニュー」画面を表示します。各種の記録データが保存されるフォルダから記録データを選択して再生できます。

◀/📷 左ボタンと ⌛/▶ 右ボタンを短押して、再生するフォルダ「常時録画」、「イベント録画」、「マニュアル録画」、「静止画」への切り換えを行います。



◀/📷 左ボタン または ⌛/▶ 右ボタンでフォルダを選択する

- ⚙ 設定ボタンを短押しすると、該当するフォルダの再生ファイルリスト画面へ移動します。
※同時に常時録画が停止します。再生ファイルリスト画面を終了すると録画が再開します。

- ⚙ 設定ボタンを長押しすると、「デジタルルームミラーモード」画面へ戻ります。



⚙ 設定ボタンを短押しする



⚙ 設定ボタンを長押しする
「デジタルルームミラーモード」に戻る

再生メニュー

●再生する

◀/📷 左ボタンと ⌚/▶ 右ボタンを押して再生ファイルリスト画面からファイルを選択し、⚙️ 設定ボタンを押すと再生中画面へ切り替わります。

再生ファイルリスト画面

フォルダ名称: 常時録画/イベント録画
マニュアル録画/静止画

F (フロントカメラ)
R (リアカメラ)

現在のファイル
/総ファイル数

サムネイル

撮影日時



古い録画ファイル

新しい録画ファイル

◀/📷 左ボタン
または
⌚/▶ 右ボタン
で再生するファイル
を選択する

⚙️ 設定ボタンを押すと、再生中画面へ切り替わる

⚙️ 設定ボタンを長押しすると、再生メニューを終了し、「デジタルルームミラーモード」に戻る

再生メニュー

再生中画面(常時録画/イベント録画)



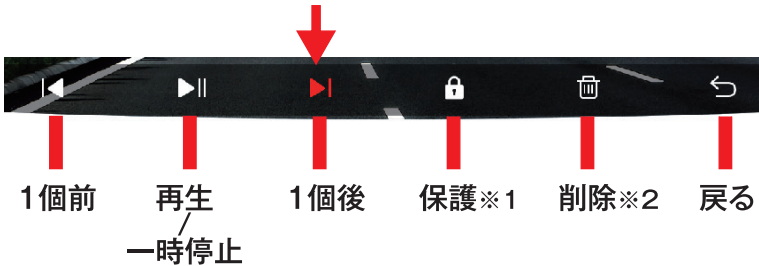
再生時間

撮影日時

◀/📷 左ボタン
または
🕒/▶ 右ボタン
で実行する操作
を選択する

- ⚙️ 設定ボタンを押すと、選択した操作を実行する
- ⚙️ 設定ボタンを長押しすると、再生中画面を終了し、再生ファイルリスト画面に戻る

選択中のボタン(赤色)



1個前

再生
一時停止

1個後

保護※1

削除※2

戻る

※1「保護」を実行すると、再生中の録画ファイル(フロント・リアカメラ)が「常時録画」フォルダより「マニュアル録画」フォルダへ移動されます。



「常時録画」フォルダ



「マニュアル録画」フォルダ

MOV_YYYY-MM-DD_0ch-00m-00s_F.ts
MOV_YYYY-MM-DD_0ch-00m-00s_R.ts



MOV_YYYY-MM-DD_0ch-00m-00s_F.ts
MOV_YYYY-MM-DD_0ch-00m-00s_R.ts

※2「削除」はイベント録画の場合は表示されません。

再生メニュー

再生中画面(マニュアル録画)



再生時間

撮影日時

◀/📷 左ボタン
または
🔄/▶ 右ボタン
で実行する操作
を選択する

⚙️ 設定ボタンを押すと、選択した操作を実行する

⚙️ 設定ボタンを長押しすると、再生中画面を終了し、再生ファイルリスト画面に戻る

選択中(赤色)



1個前

再生
一時停止

1個後

削除

戻る

再生メニュー

再生中画面(静止画)



◀/📷 左ボタン
または
🔄/▶ 右ボタン
で実行する操作
を選択する

⚙️ 設定ボタンを押すと、選択した操作を実行する

⚙️ 設定ボタンを長押しすると、再生中画面を終了し、再生ファイルリスト画面に戻る

選択中(赤色)



1個前

1個後

削除

戻る

画面の明るさ設定

下記の「メニューバー」で  設定ボタンを押すと「画面の明るさ設定」メニューを表示します。



◀/📷 左ボタン
または
🕒/▶ 右ボタン
で設定する項目を
選択する

-  設定ボタンを押すと、設定の内容を変更する
-  設定ボタンを長押しすると、設定せずに「画面明るさ設定」メニューに戻る。または、メニューバーに戻る

■画面の明るさ(手動/自動)

画面の明るさを自動調整する・しないの設定が出来ます。⇒標準設定:ON

画面の明るさ自動調整機能をON(スイッチを右側)にすると周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。

■自動調整感度

画面の明るさの自動調整感度を設定します。

・[低]:低感度 ・[中]:標準設定 ・[高]:高感度

■ドアミラー感度 ※一部の適合車種のみ

画面の明るさの自動調整に連動するドアミラーの自動防眩機能の感度を設定します。

・スライダーを左へ:感度が低くなる ・スライダーを右へ:感度が高くなる

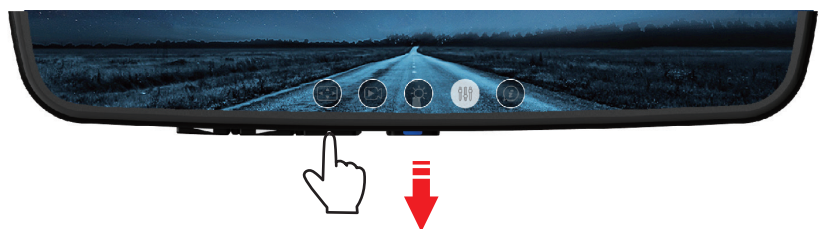
■手動明るさ調整 ※右ボタンを押してメニュー画面2ページ目に表示

画面の明るさの自動調整が過敏すぎると感じた場合は、画面の明るさ自動調整機能をOFF(スイッチを左側)にしたうえで「手動明るさ調整」に表示されるスライダーで調整してください。

・スライダーを左へ:暗く ・スライダーを右へ:明るく

各種設定

下記の「メニューバー」で ⚙️ 設定ボタンを押すと「各種設定」のメニュー画面を表示します。



◀️/📷 左ボタン
または
🔄/▶️ 右ボタン
で設定する項目へ
移動する

⚙️ 設定ボタンを押すと、設定の内容を変更する
⚙️ 設定ボタンを長押しすると、設定せずに
「各種設定」メニューに戻る。
または、メニューバーに戻る

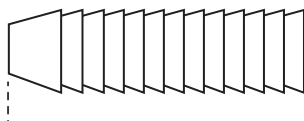
■ 後方録画

リアカメラの録画フレームレートの 30fps / 60fps の設定が出来ます。

設定内容:30fps / 60fps(初期設定)

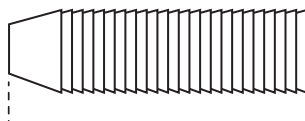


リアカメラフレーム:30fps



1秒間に30枚の静止画を組み合わせた動画
(録画ファイルサイズが小さい)

リアカメラフレーム:60fps



1秒間に60枚の静止画を組み合わせた動画
(録画ファイルサイズが大きい)

各種設定

■ ループ録画

ループ録画の設定により、常時録画は1分間/3分間/5分間の単位で録画します。

設定内容：1分間(初期設定) / 3分間 / 5分間

常時録画の録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に消去し、新しい映像を録画(上書き)します。

データが必要な場合は、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止して、microSDカードを抜いて、パソコンに保存するなどの対応をお願いします。



※ 常時録画の領域はmicroSDカード全体の60%として設定されています。

microSDカード
全体(容量)の60%



ループ録画設定: 1分



ループ録画設定: 3分



ループ録画設定: 5分

各種設定

■音声録音

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

設定内容：OFF / ON (初期設定値)



■Gセンサー

Gセンサーは、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると、衝撃検知した時の録画ファイル(+衝撃後30秒)をイベント録画ファイルとして保存します。

Gセンサーは設定により低/中/高の3段階で感度調整することができます。感度を高くすれば軽い衝撃でも録画を開始します。

設定内容：OFF / 低 / 中 (初期設定値) / 高

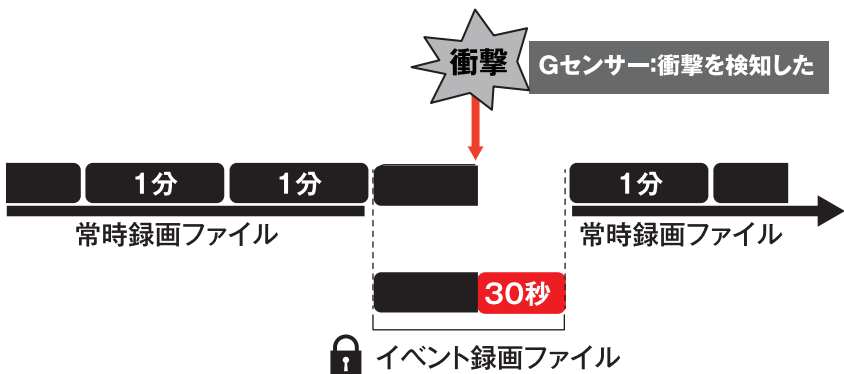


イベント録画が終了すると常時録画が開始します。

走行中のイベント録画(駐車中のイベント録画を含む)の領域はmicroSDカード全体の40%として設定されています。

イベント録画の録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に消去し、新しい映像をイベント録画(上書き)します。

録画データが必要な場合は、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止したうえでmicroSDカードを抜いて、パソコンに保存するなどの対応をお願いします。



各種設定

■ 駐車監視録画

駐車監視録画は、停車中に車への衝撃を検知することで撮影を開始する録画方式です。車両への衝撃を検知する感度は設定により低/中/高の3段階で感度調整することができます。感度を高くすれば軽い衝撃でも録画を開始します。

設定内容：OFF / 低 / 中(初期設定値) / 高



● 「駐車監視モード」について

駐車監視録画の感度(3段階)を設定すると、車両のACC電源がオフ(エンジン停止)になった後に「駐車監視モード」を開始(スタンバイ)します。

Gセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、30秒のイベント録画ファイルを保存します。

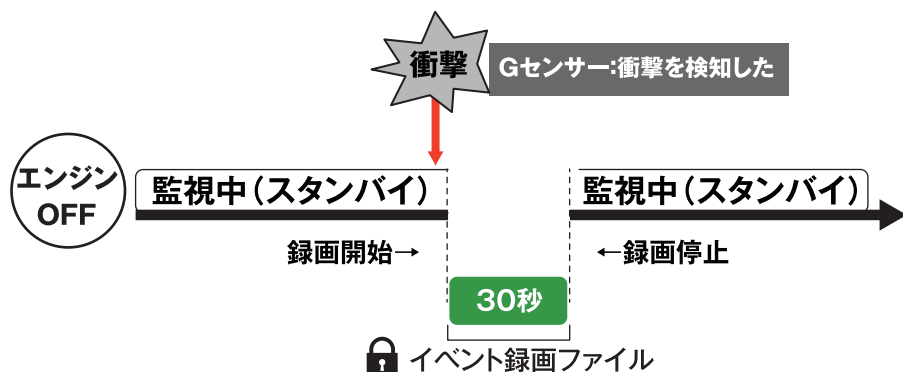
駐車イベント録画が終了すると再び「駐車監視モード」を開始(スタンバイ)します。

エンジンを始動すると「駐車監視モード」を解除し、常時録画が開始します。

駐車中のイベント録画(走行中のイベント録画を含む)の領域はmicroSDカード全体の40%として設定されています。

イベント録画の録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に消去し、新しい映像をイベント録画(上書き)します。

録画データが必要な場合は、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止したうえでmicroSDカードを抜いて、パソコンに保存するなどの対応をお願いします。



各種設定

●低電圧ブロックについて

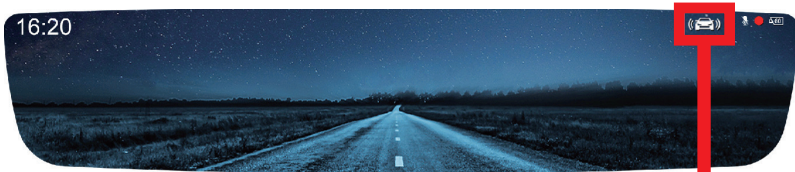
車両のバッテリー上がりを防ぐための機能です。

監視中にバッテリーの電圧が11.7V※より下がったとき本機の電源をオフにします。

※使用環境や車両の状態によって、設定電圧値は±2%程度の誤差が生じます。

●画面表示について

駐車監視の設定を「ON」にすると画面の右上に駐車監視のアイコンが表示されます。



<駐車監視録画:ON>

「駐車監視モード」中にイベント録画ファイルを保存した場合、車両のエンジンをONにすると下記のメッセージが表示されます。

※駐車中のイベント録画ファイルを記録した後、初回の起動時のみお知らせします。



エンジン始動時 (ACC ON)

各種設定

■電源オフ

ACC電源オフのとき、シャットダウン遅延(15秒遅延)/しない(設定なし)を設定します。

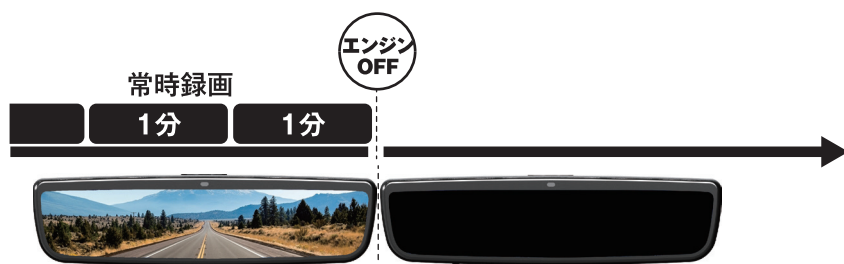
「設定なし」を選択すると、エンジン停止後に本機がシャットダウンになります。

「15秒遅延」を選択すると、エンジン停止の5秒後に本機の画面が消え、更に10秒後に本機がシャットダウンになります。

設定内容：設定なし / 15秒遅延(初期設定値)



●電源オフのタイマー設定「設定なし」



●電源オフのタイマー設定「15秒遅延」



各種設定

■日時設定

本機の時計と録画に記録する日時の設定をします。



「年 - 月 - 日 時 - 分 - 秒」の順番に調整できます。

◀/📷 左ボタンと ⌚/▶ 右ボタンで設定したい項目に移動し、⚙️ 設定ボタンを短押しすると、矢印の色が変わり該当する項目の内容調整が可能になります。

◀/📷 左ボタンと ⌚/▶ 右ボタンで設定値を調整し、もう一度 ⚙️ 設定ボタンを短押しして保存します。

⚙️ 設定ボタンを長押しすると、日時設定を終了します。

■言語

「日時設定」画面を終了し、⌚/▶ 右ボタンを短押しすると、本機システムの言語設定画面が表示されます。

◀/📷 左ボタンと ⌚/▶ 右ボタンで使用したい言語を選択することが出来ます。

設定完了後に ⚙️ 設定ボタンを短押しして保存します。

設定内容：日本語(初期設定値) / English / 簡体中文 / 繁體中文



各種設定

■時計表示

画面左上の時計の表示／非表示を設定することができます。

設定内容：ON(初期設定値) / OFF



時計表示 ON
＜画面の左上＞

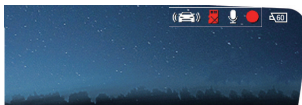


時計表示 OFF
＜画面の左上＞

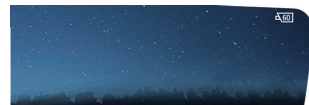
■アイコン表示

画面右上のアイコンの表示／非表示を設定することができます。

設定内容：ON(初期設定値) / OFF



アイコン表示 ON
＜画面の右上＞



アイコン表示 OFF
＜画面の右上＞

※「アイコン表示」OFFを選択しても、リアカメラアイコン  は消えません。

各種設定

■フォーマット

microSDカード内の映像をすべて削除します。保存しておきたい映像がある場合はパソコンに保存してから本操作を行ってください。



「フォーマット」を選択し、⚙ 設定ボタンを短押しすると、確認メッセージが表示されます。実行する場合は、▶/📷 ボタンと ◀/▶ ボタンで「OK」を選択し、⚙ 設定ボタンを押します。



■設定初期化

全ての設定項目を工場出荷時の設定に戻します。



「設定初期化」を選択し、⚙ 設定ボタンを短押しすると、確認メッセージが表示されます。実行する場合は、▶/📷 ボタンと ◀/▶ ボタンで「OK」を選択し、⚙ 設定ボタンを押します。



本体情報

■バージョン

下記の「メニューバー」で ⚙️ 設定ボタンを短押しすると、本機のファームウェアのバージョンを表示します。

もう一度 ⚙️ 設定ボタンを押すと、「メニューバー」に戻ります。

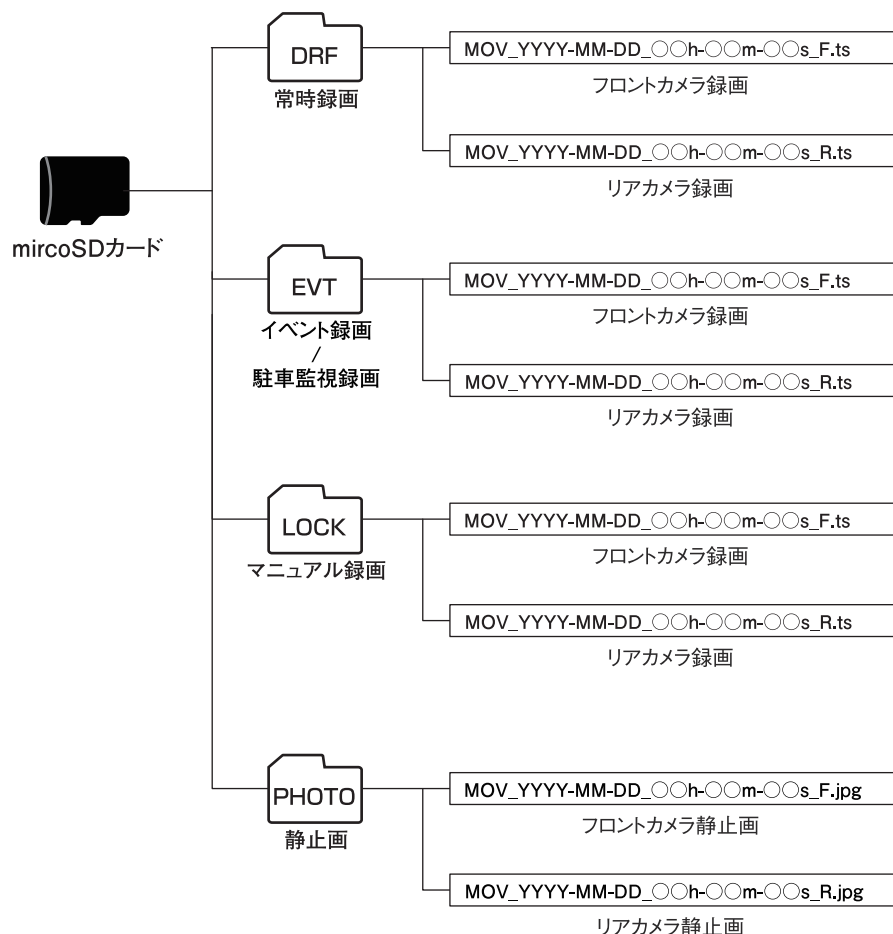


パソコンで再生する

■フォルダ/ファイル構成

microSDカードに記録した録画または静止画ファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

●フォルダ構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。

録画を開始した 年 月 日 時 分 秒

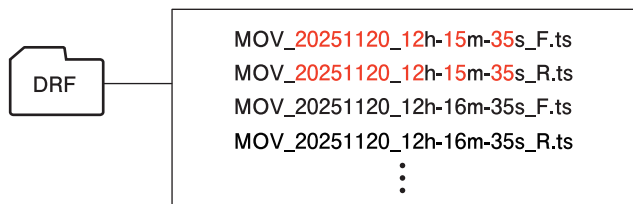
MOV_YYYYMMDD_00h-00m-00s_F.ts — 拡張子 .ts 録画
— .jpg 静止画

F:フロントカメラで記録したデータです。
R:リアカメラで記録したデータです。

パソコンで再生する

※年月日時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

例) 2025/11/20 12:15:35に常時録画を開始したファイル名:



※必ずエンジンを停止してから、microSDカードを抜き取ってご利用ください。

※パソコンの動画再生ソフトで再生してください。音声がでない場合は他の動画再生ソフトを使用するかパソコンや動画ソフトの設定、コーデックなど確認してください。

よくある質問

■故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。

解決方法を見つからない場合は、ご購入店または当社サービス窓口へご相談ください。

ご質問	回 答
電源が入らない	ヒューズが入っていないか断線しています。 ヒューズを入れるか原因を確かめてからヒューズを交換してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知しています。 感度を低く設定してください。(高 → 低)
時計がずれている	期間を開けて使用する場合は日時表示がリセットされることがあります。 日時を手動で設定し直してください。
画面がフリーズする	microSDカードの書き込みエラーが発生し、本体システムに異常が発生した可能性があります。microSDカードを交換してください。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

製品仕様

モニター	9.6 インチ (1920×384 pixels)
輝度	MAX 2250cd/m ²
フロントカメラ画角	H:110°、V:55°
フロントカメラ解像度	1080P @27.5fps
リアカメラ画角	H:70°、V:38°
リアカメラ解像度	1080P @60fps
画像補正	HDR
リアカメラ防水	IP67
衝撃センサー	Gセンサー
録画モード	ループ録画(1分/3分/5分)
記録方式	常時録画/イベント録画/駐車監視録画(イベント録画)/ マニュアル録画(イベント録画)
ファイル形式	.ts(録画)、.jpg(静止画)
記録媒体	microSDカード [*] 64GB Class10 同梱
電源入力	DC 12V
動作温度	-30°C~+80°C
保存温度	-40°C~+85°C

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧・周波数）などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN